

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	令和7年5月に事業所を移転したことでスペースの確保は改善された。
	2	職員の配置数は適切であるか	0	3	2	人員配置基準は満たしているが、発達を鑑みると、支援をする人員は曜日によって今以上に必要と感じる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	0	令和7年5月に事業所を移転したことで段差解消された。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0	5	0	目標管理シート等で年度の課題設定と解決に向けたアクションは起こしているが、非常勤職員には不十分である。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0	サービス評価が該当するが、今以上に保護者の意向等の確認が必要と考える。計画書の説明等を利用したい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0	自社ホームページにて実施している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	0	実施したことはないが第三者評価に携わったことのある職員がいるため自分たちで自己点検は可能と考える。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	0	法人全体の研修や役場主催の研修は充実しているが放課後等デイに特化した研修はボリュームアップが必要と考える。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	アセスメントや計画書は担当職員が不在であるも、初任者研修を受講した職員が担当して計画書に基づく支援を提供する。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	5	0	標準化されたアセスメントツールを使用しているが定期的な見直しが必要と考える。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	4	0	OT,ST、保育士等の他職種の間わりがあり夫々の方向からアプローチしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	週単位で活動内容を変化させているが、活動内容と児童に期待される内容の整合が必要と考える。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	休日や長期休暇の際の活動内容がマンネリ化しないよう更に活動の幅を広げる必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	4	0	個のサービス、集団的活動を日々提供しているが、個のサービスの品質向上が今後の課題と考える。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	0	4	1	出勤時間や児童の送迎時間の関係でうまく引継ぎができないことがあるので、確実に情報共有する仕組み作りが必要。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	1	出勤時間や児童の送迎時間の関係でうまく共有できないことがあるので、確実に情報共有する仕組み作りが必要。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	記録は日々必ず行っている。(業務日誌も同様)目を通す習慣化が課題である。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	4	0	毎月職員カンファレンスを行い、進捗状況を確認しているが、サービスの見直しについては不十分である。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1	0	毎年1回ガイドラインの読み合わせを行っているが、今後はポイントを絞って持続的に展開していくこととする。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	1	4	0	基本的に保育士が参加して、情報を共有できるように紙面に落とし込んでいる。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	0	送迎の際に学校での様子を尋ねたり、逆に放課後等デイで気になる様子を伝えることができている。学校の行事等は保護者とのLINE連絡でも共有できている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	2	今のところ対象児童の利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	0	全ての児童に行っているわけではないが、場合によっては保護者の同意の下、情報を共有することはある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	5	0	専用のシートがあるわけではないが、就職先の事業所より情報提供の依頼があった場合に、放課後等デイでの様子を紙面で情報提供したことはある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	相談支援専門員を介して間接的に行うことはあるが直接的に連携をしたことはなく、今後の課題の1つと考えている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	3	特別に企画して実施できていないが、感染症の脅威も軽減されたため、今後働きかけをしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	0	長与町主催の協議会に年に6回管理者が必ず参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	LINEを介して日々の活動の様子を静止画や動画を付け加えて行っている。タイムラグ等なく好評である。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1	1	今後大切にしていきたい課題の1つなので優先順位を上げて計画的に実施を目指す。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	利用開始時には実施しているが、サービスが始まった後は報酬改定の際に紙面で説明して同意を得ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	個別的に保護者よりアクションがある場合は実施できているが、こちらから積極的にできていない点は課題と捉えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	0	年に1度夏祭り等、イベントの開催を介して保護者や児童の兄弟等々との交流の機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	令和7年度において、特に苦情と考えられる内容の申し出はなかったが、潜在化している可能性は十分に考えられるため、要望、希望の抽出に引き続き尽力する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	保護者との情報提供は全てLINEで行っているが、今後児童に有効と考えられるような地域行事の情報提供等に努めていきたい。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	児童の情報は専用のキャビネットで一元的に管理して事業所はセキュリティシステムを導入して防犯に努めている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	コミュニケーションは言葉だけではなく、特性に応じて視覚にて情報提供する等、様々な手段を職員で検討して行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	0	同一敷地内で行っている地域密着型サービスを利用して地域住民との関わりを得ることができている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	5	0	新しく利用が始まったばかりの保護者へは契約の際に左記の方針やフロー等を口頭で説明している。今後紙面で行うことを検討している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	年に2回、同一敷地内の事業所と一体的に訓練を行い、検証まで実施後、書面で保存している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	虐待防止研修に関しては、外部、法人内、事業所内の、最低3回は実施して発生の抑止策の1つとしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	0	法人として虐待防止委員会を発足して定期的に会合を行っている。今までのところ、行動の抑制を行うことはなかったが、生命や安全を冒す場合は想定されるため、保護者への説明を検討する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	1	生命の存続に影響を与えかねない事柄なので、特に留意している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	1	アクシデントレポートは充実しているが、ヒヤリハットに関して、件数が少ないように感じるため、気づきアップを目指して記録に残していく等今後検討していく。